

給食における行事食に関する研究

—学校給食における行事食の取り入れ状況調査—

佐藤 和美・薬師寺 國人

The Research on the Special Food Relating to Annual Events in the Meals Provided at Specific Facilities

—The Situation of Adopting the Special Food for Annual Events into School Lunches—

SATO Kazumi and YAKUSHIJI Kunito

Because the rice-based diet was introduced into school lunches, it seems that the special food for Japanese traditional annual events and celebrations has become easy to be adopted into the menus of school lunches. So we researched the actual situation of this on the basis of the year's menu tables of the lunches at elementary schools in 8 neighboring cities.

The result showed that the special food for annual events all eight cities adopted into the menus had relation to only two celebrations, *Setsubun* (the Day before the beginning of spring) and *Hinamatsuri* (the Girl's Day), and that annual events and celebrations were not much taken into consideration in making plans for the menus of school lunches as a whole.

It is hoped that the special food relating to the traditional events and celebrations will be introduced into school lunches as much as possible and will be known to children in school education.

Keywords: school lunches, the special food relating to annual events

キーワード：学校給食, 行事食

1. はじめに

日本では昔から伝統的な年中行事や祝祭日、儀礼の日の特別な晴れの食事を大切にしてきた。しかし現代の我々の生活習慣・食生活は大きく変化してきている。さらに核家族化・女性の社会進出の増加、そして食生活も年々簡便化してきている中で、現在家庭においても日本古来の年中行事に因んだ料理が実施される回数も減少しているのではないかと推察される。

ところで、通常の個々の食事は個人の意志や要求、経済状態によって自分の意思で決めることが

できるものであるが、給食の場合は自分が選ぶのではなく与えられるものである。給食において行事食はどの程度実施されているかという資料はあまり見当たらない。そこで今回、学校給食において行事食がどの程度取り入れられているのかについて調査した。

2. 方法

(1)調査対象

調査を進めるに当たり、本学近隣市8市より小学校給食の標準献立表の平成14年度1年分について

て提供を受けた。比較対照として事業所の1施設と陸上自衛隊の1施設からも平成14年度昼食献立表1年分の提供を受けた。

(2)調査の方法

献立表の平成14年度の1年分に基づき、各献立より日本の伝統行事に因んだ食材、料理について調査した。

3. 結果と考察

1) 米飯給食の実施について

学校給食は昭和29年に制定された「学校給食法」に基づき、義務教育諸学校に在籍する児童生徒を対象として実施される給食である。学校給食の実施回数なども「学校給食実施基準」第3条で年間を通じ、原則として週5回以上授業日の昼食時に実施と定められていて、実際には月曜日から金曜日の5日間に提供されており、年間で180~190回程度実施されている。

「学校給食法」制定当時の完全給食の食形態はパン・ミルク・おかずであったが昭和51年より米飯給食が導入され、これに伴い給食内容も多様化し日本の伝統的な行事食などが献立に取り入れ易くなってきたのではと思い、まず給食の主食が何になっているのかその実施回数を調べた。結果は表1に示す通りであった。米飯の回数は8市の平均で42.5%であり、パンの回数の平均は46.8%で麺の回数の平均は10.7%であり米飯以外が57.5%であった。米飯の回数はパンと比較するとまだパンの方が若干多いようである。しかし、米飯の回数の少ないいくつかの市の話によると今後米飯給食の回数を増やして行く予定だとのことであった。現在もこの8市の中には1日置きに米飯を実施しているところもある。

2) 学校給食への行事食の取り入れ状況

8市の小学校給食14年度1年分の各標準献立表より、日本の年中行事、四季折々の節目と区切りをつける、人日（七草粥1月7日）・人日（雛祭り3月3日）・端午（こどもの日5月5日）・七夕（7月7日）・重陽（お供日旧暦日9月9日）の五節句をはじめ日本古来の神道や仏教から神霊や仏

霊を迎え五穀豊穡の祈りや感謝、家族の繁栄、健康幸福を願い、自然界の日、月、星に親しむ祭りなど伝統的な行事に因んだ食材、料理について調査した。結果は表2に示す通りであった。4月~6月には行事食は導入されていない。5月端午の節句の前後にも何も行われていない。7月は七夕で献立にそうめんが食材として導入されている。A市、B市、C市、E市、G市の5市がこの行事食を取り入れていた。この日に行事食として「そうめん」を食べるのは、織姫の伝説から、そうめんの1本1本を織り糸にみなし裁縫や手芸が上手になるようにという願いをこめてなどからといわれている。七夕は五節句の1つであり、我が国では初めは畑の作物の収穫が終了した後に、麦を加工した麺類を先祖に供えた感謝の祭りであった。またちょうど夏の暑いときに冷やしそうめんは時節に合っていると思われる。

9月の十五夜の行事食を導入している小学校は8市のうちB市、G市の2市であった。B市はうさぎパンとみたらし団子で、G市は食材として里芋と白玉団子を使用していた。

10月の十三夜の行事食を導入している小学校は8市のうちB市のみで料理はすいとんと蒸かし芋であった。

正月は一般的に家族揃って、お屠蘇や雑煮、おせち料理で祝う。この行事食を導入している小学校は、8市うちA市、E市、G市の3市であり、料理は雑煮である。雑煮には餅ではなく3市とも白玉を餅の代わりに用いて白玉雑煮にしていた。またこの3市中G市はこの他になますと筑前煮を提供していた。また1月7日の七草粥を導入している市はなかった。そして鏡開きとしてF市のみがおしるこを提供していた。

2月3日は節分である。節分という言葉は、「季節の分かれ目」という意味で、本来は春夏秋冬の四季にあり、季節の分かれ目の立春、立夏、立秋、立冬の前日は全て節分である。しかしその中でも、全てのものが生まれでる春という季節を、新しい年の始まりと考えると、春の節分は1年の最初の日ということで、この春の節分が重視されている。節分の行事というとまず豆まきであるが、

表1 平成14年度 学校給食の主食実施回数

月		A市	B市	C市	D市	E市	F市	G市	H市
4月	給食回数	14	14	14	12	14	12	14	14
	米飯(内白飯以外)	6(4)	6(4)	5(3)	6(5)	6(2)	5(3)	6(1)	5(2)
	パン	6	6	8	5	7	5	8	6
	麺類	2	2	1	1	1	2	0	3
5月	給食回数	21	21	21	21	21	21	21	21
	米飯(内白飯以外)	8(6)	8(5)	9(4)	9(6)	11(5)	7(4)	10(3)	8(4)
	パン	10	9	9	12	7	10	11	9
	麺類	3	4	3	0	3	4	0	4
6月	給食回数	21	20	19	20	20	20	20	19
	米飯(内白飯以外)	8(6)	8(6)	8(4)	8(7)	10(5)	7(3)	10(2)	7(2)
	パン	9	9	10	10	9	11	9	9
	麺類	4	3	1	2	1	2	1	3
7月	給食回数	11	13	12	12	13	13	11	12
	米飯(内白飯以外)	5(4)	5(4)	5(2)	5(3)	6(2)	5(2)	6(1)	4(1)
	パン	5	7	6	5	7	7	5	6
	麺類	1	1	1	2	0	1	0	2
9月	給食回数	16	16	15	16	16	17	14	15
	米飯(内白飯以外)	6(5)	6(5)	7(3)	8(6)	8(2)	5(3)	7(1)	5(2)
	パン	8	8	7	6	8	9	6	6
	麺類	2	5	1	2	0	3	1	4
10月	給食回数	22	22	22	22	22	22	22	21
	米飯(内白飯以外)	9(7)	9(7)	10(5)	10(9)	11(4)	9(5)	11(2)	8(3)
	パン	11	11	10	11	8	10	9	10
	麺類	2	2	2	1	3	3	2	3
11月	給食回数	18	20	20	20	20	20	20	20
	米飯(内白飯以外)	7(5)	8(5)	8(4)	8(6)	11(5)	7(3)	10(1)	7(2)
	パン	8	9	10	11	9	10	8	8
	麺類	3	3	2	1	0	3	2	5
12月	給食回数	14	14	14	14	14	15	15	13
	米飯(内白飯以外)	6(4)	6(3)	5(2)	6(6)	7(1)	6(3)	7(3)	6(3)
	パン	7	6	8	8	7	6	7	5
	麺類	1	2	1	0	0	3	1	2
1月	給食回数	13	14	15	15	15	15	15	13
	米飯(内白飯以外)	5(4)	6(4)	6(3)	7(6)	8(4)	6(3)	8(1)	4(2)
	パン	6	6	8	8	7	7	7	6
	麺類	2	2	1	0	0	2	0	3
2月	給食回数	19	19	19	19	19	19	19	19
	米飯(内白飯以外)	8(6)	7(5)	7(4)	8(6)	10(3)	7(5)	9(3)	8(2)
	パン	8	8	10	9	8	9	9	8
	麺類	3	5	2	2	1	3	1	3
3月	給食回数	14	11	10	12	13	11	12	12
	米飯(内白飯以外)	6(4)	4(3)	5(3)	5(4)	7(4)	4(2)	6(2)	5(2)
	パン	7	5	4	7	6	5	6	5
	麺類	1	2	1	0	0	2	0	2
合計 回数	給食回数	183	184	181	183	187	185	183	179
	米飯(内白飯以外)	74(55)	73(51)	75(37)	80(64)	95(37)	68(36)	90(20)	67(23)
	パン	85	84	90	92	83	89	85	78
	麺類	27	24	16	11	9	28	8	34
合計 %	米飯(内白飯以外)	40(74)	40(70)	41(49)	44(80)	51(39)	37(52)	49(18)	37(34)
	パン	47	45	50	50	44	48	47	44
	麺類	13	15	8.9	6	5	15	4	19

表2 平成14年度 学校給食標準献立表における行事食の取り入れ状況

		4月	5月	6月	7月 七夕	8月	9月 十五夜
1	A市				そうめん汁		
2	B市				そうめん汁		うさぎパン・みたらしだんご
3	C市				そうめん汁		
4	D市						
5	E市				そうめん汁		
6	F市						
7	G市				すましそうめん		さといもの煮物・フルーツ白玉
8	H市						

		10月13夜	11月	12月	1月 正月	2月 節分	3月 雛祭り	行事食の年間実施回数
1	A市				白玉ぞう煮	いり大豆	ひなあられ	4
2	B市	すいとん・ふかし芋				いり大豆・イワシ蒲焼井	手巻き五目ずし・デザートセレクト	5
3	C市					ふくまめ	ひなあられ	3
4	D市					ふくまめ	ひなあられ	2
5	E市				白玉ぞう煮風	ふくまめ	ひなあられ・三色ごはん	4
6	F市				おしるこ	鬼打ちまめ	ひなあられ・五目ずし	3
7	G市				白玉ぞう煮・なます・筑前煮	福豆	赤飯・すまし汁(あられ)	5
8	H市					大豆のいそに	ひなあられ	2

他に鬼の嫌いな柊の枝にイワシの頭を刺し戸口にかかげる風習もある。この行事は表2の2月の通り8市とも全てが導入しており、大豆を用いていた。8市の内H市のみが福豆(いり大豆)ではなく大豆の煮物にしていた。またB市は豆以外に、イワシを献立の中に蒲焼にして導入していた。

3月3日雛祭りの行事の料理は、一般的にちらしまたは赤飯、ハマグリや吸い物、焼き物としてサザエ、そして白酒、ひなあられ、菱餅や桜餅などである。この行事食は、表2の3の通り8市の全てが導入している。8市のうちB市以外の7

市は、ひなあられを取り入れる。その他として7市の中E市は三色ごはん、F市は五目ずし、B市は手巻きずしとデザートを取り入れていた。

4月から3月の1年間8市の全てが導入している伝統行事は表2に示した通り、2月の節分と3月の雛祭りであることがわかった。

3) 学校給食以外の給食の例との比較

献立表の提供を受けた特定給食施設事業所、自衛隊給食の年間行事食導入の状況は表3に示した通りであった。行事食の内容も学校給食とは若干

表3 平成14年度 事業所および自衛隊の給食献立表における行事食の取り入れ状況の例

月	事業所の年間行事食	自衛隊の年間行事食
4月		
5月	端午の節句(現在こどもの日): 柏餅	端午の節句(現在こどもの日): 柏餅
6月		
7月	土用の丑: うなぎの蒲焼	土用の丑: うなぎの蒲焼
8月		
9月		
10月		十五夜: 月見団子
11月		
12月		
1月	正月: お雑煮 七草: 七草粥 鏡開き: おしるこ・ぜんざい	正月: お雑煮・おせち料理 七草: 七草粥
2月	節分: 炒り豆	節分: 福豆
3月	雛祭り: ひなあられ	雛祭り: ちらし寿司・桜餅
事業所の年間行事食実施回数 7回		自衛隊の年間行事食実施回数 7回

異なるが事業所、自衛隊の方が行事食の取り入れ回数が多いことがわかった。学校給食全市で取り入れられていた節分と雛祭りは事業所、自衛隊でも取り入れられていた。また事業所、自衛隊では行事が休日に当たった場合は、その前後に実施されていたが、学校給食は午前中で終わるときや休校などに当たった場合はカットされていたことが実施回数の違いの理由であると思われる。

4. まとめ

学校給食への日本の伝統的な年間行事食の取り入れ状況について、本学近隣8市の小学校給食の年間標準献立表より調査してみた結果、節分と雛祭り以外はあまり取り入れられていない状況であることがわかった。

学校給食は昼食の1食のみであり、学校栄養職員の職務内容についての通知¹⁾にも「学校給食を通じて、家庭及び地域との連携を推進するための各種事業の政策の策定及び実施に参画すること」と定められているように、家庭や地域との連携を払いながら運営されているので、行事や行事食は家庭や地域で導入されているはずだという理由で学校ではあまり導入しないかも知れない。しかし、核家族化や女性の社会進出、食生活の外部化などに伴い各家庭で実際に行事を行うことや、その行事にまつわる料理を作る機会が薄れてきているのが現状ではないかと思う。そこで食教育である学校給食に伝統的な行事に係わる食材や料理を現状以上に多く取り入れるよう考慮が必要であると考ええる。

なお、今回は本学近隣市についてのみ調査したものであるが、標準献立ではなく各学校のオリジナルメニューで独自に行事食を取り入れている例があるならお知らせ願いたいと考える。

謝辞

本研究を進めるにあたり、多大なご協力をいただいた近隣8市の教育委員会と事業所、自衛隊に深く感謝申し上げます。

参考文献

- 1). 文部省体育局長通知(1986).「学校栄養職員の職務内容について」文体給第88号

要旨

学校給食に米飯給食が導入されたことに伴い、日本の伝統的な年間行事食が取り入れやすくなったことと思われるので、近隣8市について小学校給食の年間献立表から実状を調査した。その結果、調査した全市で取り入れられていたのは節分と雛祭りに係わるものだけであり、全般に取り入れ状況は多くなかった。

教育現場で学校給食を通し伝統的行事に因んだ食材や料理をできるかぎり導入して、子どもたちに教えて欲しいと考える。

(2003. 10. 17 受稿)